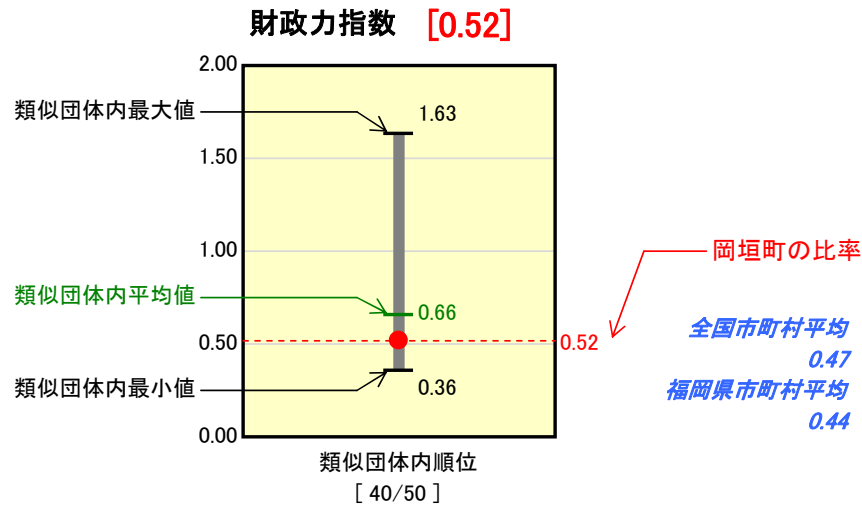


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

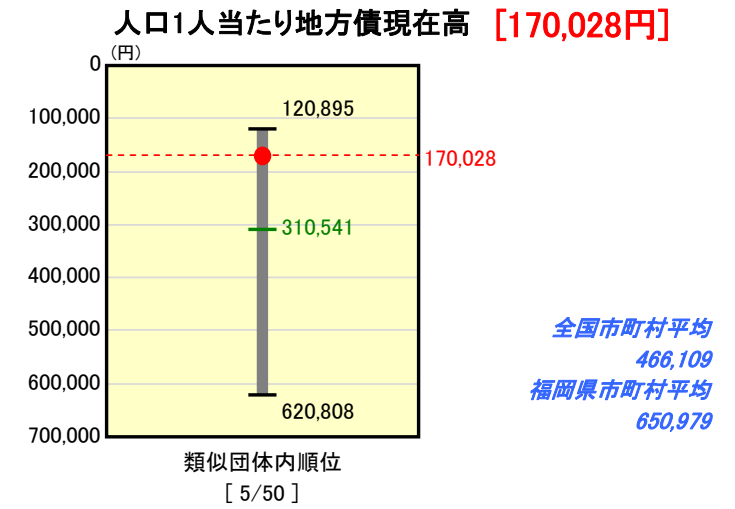
福岡県 岡垣町

人口	31,693 人(H17.3.31現在)
面積	48.51 km ²
歳入総額	7,936,479 千円
歳出総額	7,672,869 千円
実質収支	262,615 千円

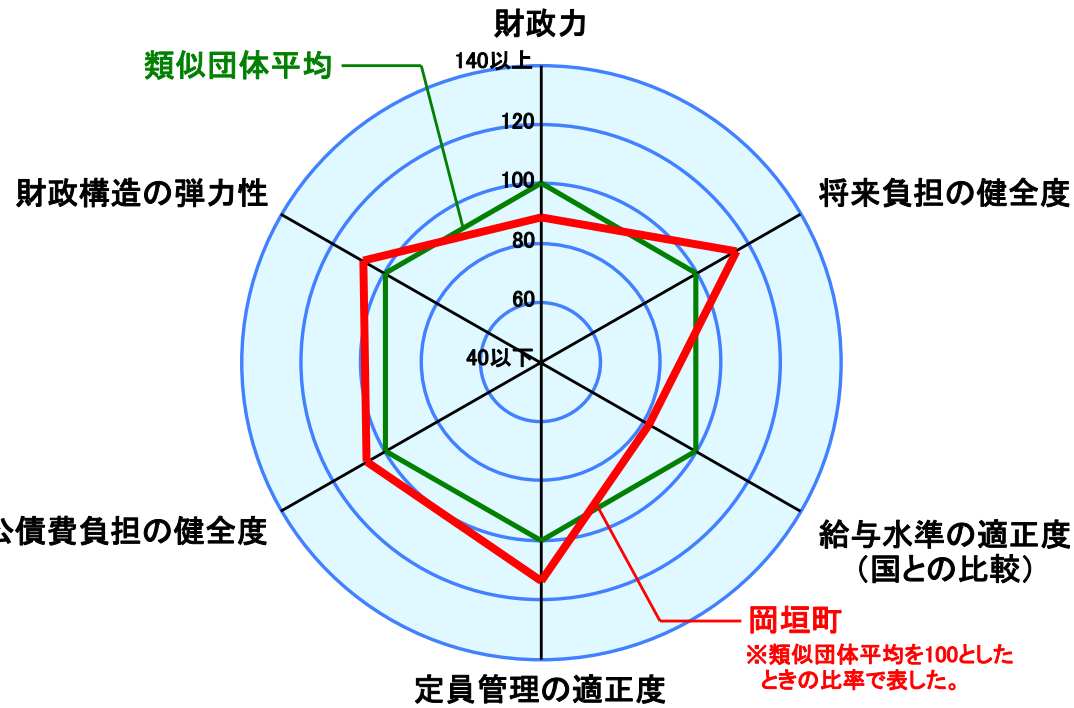
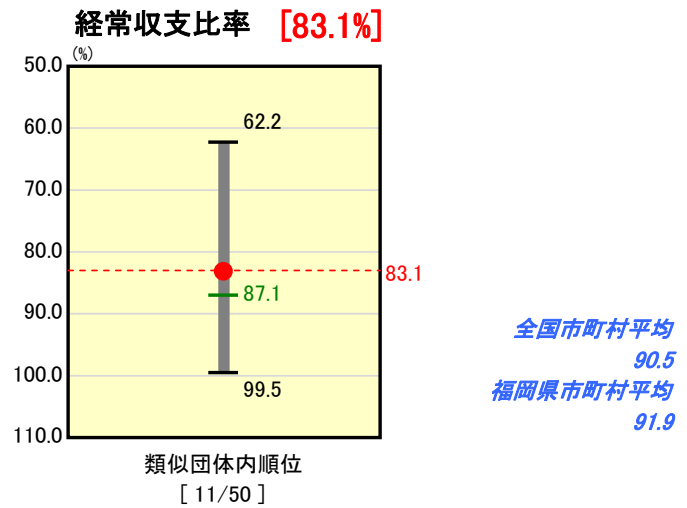
財政力



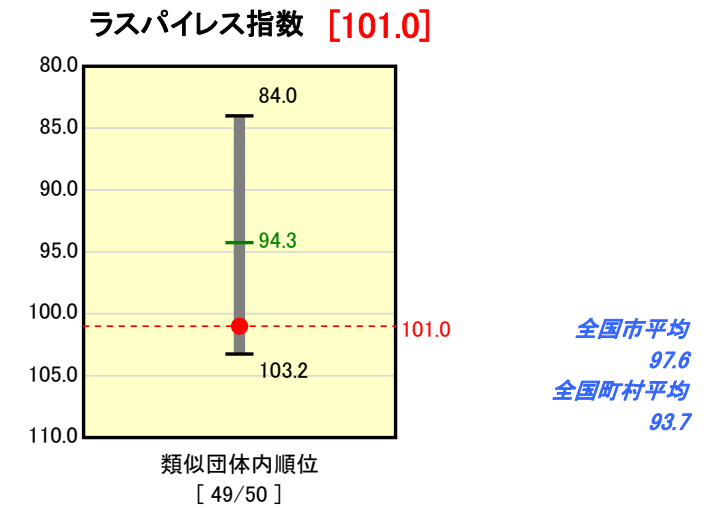
将来負担の健全度



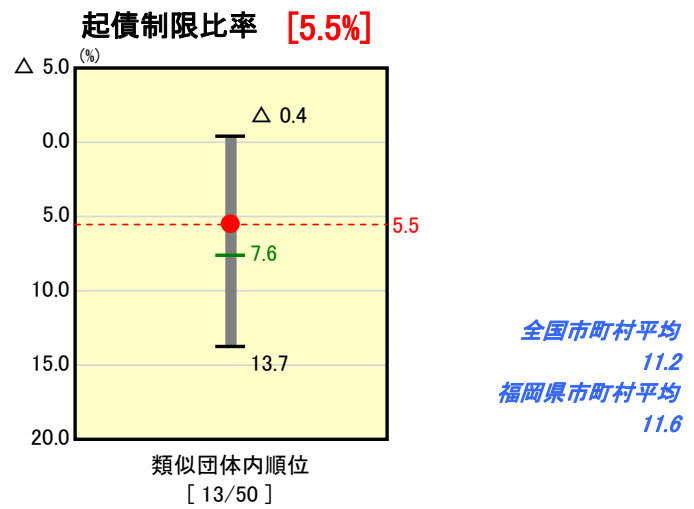
財政構造の弾力性



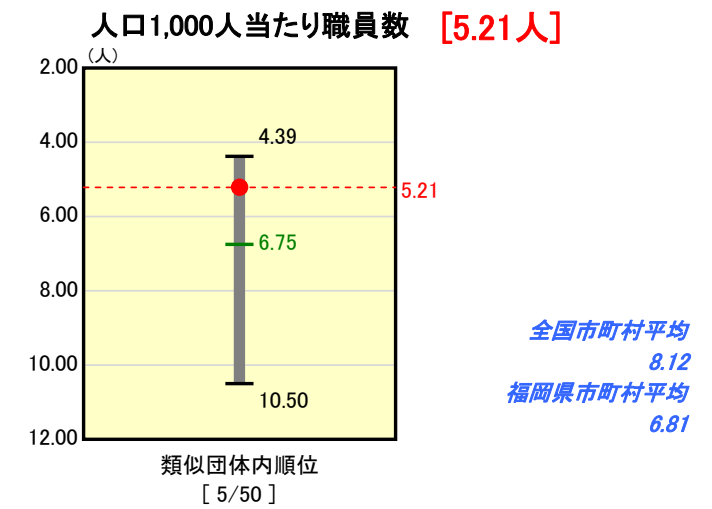
給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析欄

○財政力指数
税源移譲による所得譲与税の影響を受け、財政力指数は向上している。ただし、これら要因を除くと実質的な収支は伸長しておらず、脆弱な財政力となっている。今後においては、更なる収支の強化を図り指数の向上に努める。

○経常収支比率
類似団体平均指数を下回る数値となっているが、今後、老朽化した施設維持管理等に係る物件費や福祉関係に係る扶助費などの上昇が見込まれ、指数の上昇が懸念される。行財政構造改革により、経常的経費の削減を図り、弾力性のある財政構造を目指す。

○起債制限比率
平成14年度に起債償還のピークを迎え、その後指数は改善されている。今後においても、事業の必要性・有効性を鑑み事業展開していくとともに、より有利な起債を選択し、更なる指数の向上に努める。

○人口1人当たりの地方債現在高
類似団体との比較においても比較的良好な指数を示す。今後においても、適正な地方債管理と後年度負担を視野に入れ、地方債の発行に努める。

○ラスパイレス指数
適正な職員定数の設定と併せて、他自治体に先行して人事評価制度を導入するなど、総人件費の抑制に努めている。今後は、人事院勧告に基づく給与水準の一層の見直しに努め、特に職務給の徹底と能力・実績重視の給与制度への転換を図る。

○人口1,000人当たりの職員数
類似団体に比べ、比較的小さい職員数であるが、今後はより一層の簡素化・効率化に努めるとともに定員適正化計画(退職者数に関わらず、新規採用を毎年2名とし、今後5年間で13人(7.0%)の削減を行う)に基づき定員の削減を図る。